

本書の掲載内容に下記の誤りがございました。ここに訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。初刷時からの訂正を載せております。お手持ちの本では修正されている可能性もございます。

頁	箇所	誤	正
30	下から7行目	$1J=1W/s$	$1J=1W \cdot s$
71	1行目	$p = NrL^2I$	$p = NrLI^2$
132	標準問題 9行目	飽和水状態を表す	飽和蒸気状態を表す
144	3行目	定容比熱 c_p	定容比熱 c_v
157	章末実戦問題 2, 3行目	$P_2 (=1.2MPa)$	$P_2 (=1.4MPa)$
158		※7行目の次に次のものを挿入	指数計算の値 $10^{\frac{0.4}{1.4}} = 1.9307$ $14^{\frac{0.4}{1.4}} = 2.1255$
170	下から9, 11行目	pg	ρg
223	標準問題 2 7-9行目	が極めて近い値であるので、対数平均温度差を相加平均温度差で近似して… F a.bc [m ²]となる	の平均をとるに当たり、相加平均温度差によるものと仮定して… F ab.c [m ²]となる
	解答 2	C 50 … E 49 F 9.80	C 30 … E 39 F 12.3
224	解説 2 5行目	$100 - 50 = 50$	$80 - 50 = 30$
	6行目	…49℃です (対数平均でも 48.99℃に…	… $(30 + 48) \div 2 = 39$ ℃です (対数平均温度差は 38.3℃に…
	8行目	… $\div 49K = 9.796m^2 \approx 9.80m^2$	… $\div 39K = 12.307m^2 \approx 12.3m^2$
236	解説 1 3行目	メタンの	プロパンの
338	標準問題 2	ス. 115,000 セ. 125,000 ソ. 135,000	ス. 115 セ. 125 ソ. 135
339	下から1行目	115,000kW	115kW
369	解説 1 Q_{all} 式	$\times 1 \times 1.2$	$\times 1.2$
384	め	面積流量計	面積式流量計
巻末		※湿り空気線図の抜け落ちがございました。右リンクをご確認下さい	湿り空気線図